

公益社団法人愛知県医師会 第1回(定例)理事会議事録

開催日時：平成25年 4月11日(木) 午後2時40分～午後4時55分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／稲坂 博 可世木成明 市川朝洋 吉田 貴 伊藤健一

城 義政 加藤雅通 大輪芳裕 西山 朗 櫻尾富二

松尾清一 樋口俊寛 伊藤富士子 細川秀一

監事／加藤 茂 丹羽 巽 岩瀬敬紀

代議員会議長／杉田洋一

代議員会副議長／大野和美

欠席者

理事／瀨瀨雅明

議事録作成者 大嶋 卓

※市川理事については、承認事項2から承認事項5まで途中退席。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者23名で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶があった。

議 事

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

- ①愛知県、公益社団法人愛知県看護協会主催の平成25年度「看護の日」及び「看護週間」の後援について

市川理事より説明があり、審議の結果、全会一致をもって承認された。

- ②愛知県泌尿器科医会(会長 吉田和彦)の行う第3回愛知県泌尿器科医会市民公開講座の後援について

市川理事より説明があり、審議の結果、全会一致をもって承認された。

- ③NPO法人こころとまなびどっとこむ(理事長 西尾公男)の行う不登校・ひきこもりフォーラム&保健所とNPOによる合同相談会の後援について
市川理事より説明があり、審議の結果、全会一致をもって承認された。
- ④一般社団法人愛知県歯科医師会主催の平成25年度「歯と口の健康週間」(歯の健康センター)の後援について
市川理事より説明があり、審議の結果、全会一致をもって承認された。
- ⑤半田市医師会の行うAED(BLS)講習会の共催について
市川理事より説明があり、審議の結果、全会一致をもって承認された。
- ⑥朝日高齢者福祉セミナー実行委員会(委員長 内山治夫)の行う朝日高齢者セミナーの後援について
市川理事より説明があり、審議の結果、全会一致をもって承認された。
- ⑦子どもをタバコから守る会・愛知(世話人代表 稲垣幸司:愛知学院大学短期大学部 歯科衛生学科教授、同歯学部歯周病学講座准教授(兼担))主催の2013年度世界禁煙デーin愛知の後援について
市川理事より説明があり、審議の結果、全会一致をもって承認された。
- (2) 第23回日本産業衛生学会 産業医・産業看護全国協議会(企画運営委員長 斉藤政彦)への協賛金について
市川理事より説明があり、審議の結果、3万円の支出をすることが全会一致をもって承認された。
- (3) 愛知医科大学非常勤講師の委嘱について
市川理事より説明があり、審議の結果、大輪理事を委嘱することが全会一致をもって承認された。
- (4) 5月の県下医師会長等協議会について
市川理事より説明があり、審議の結果、原案のとおり5月16日(木)15:00から開催することが全会一致をもって承認された。
- (5) 平成25年度 愛知県医師会諸会議日程について
市川理事より説明があり、審議の結果、原案のとおり理事会を毎週木曜日(第1木曜日は休会)14:30より4階理事会議室で、県下医師会長等協議会を毎月第3木曜日(1月、3月及び代議員会開催月は休会)14:00より9階大講堂で、第169回(定例)代議員会を6月30日(日)10:00より9階大講堂で、第170回(臨時)代議員会を平成26年3月15日(土)14:00より9階大講堂で、中部医師会連合委員総会を11月16日(土)、11月17日(日)に岐阜都ホテルで、日医代議員と本会役員との合同協議会を5

月 30 日 (木)、平成 26 年 2 月 27 日 (木) のいずれも 14:00 より 8 階会議室で、中部医師会連合日医代議員協議会を 6 月 5 日 (水)、平成 26 年 3 月 5 日 (水) のいずれも 15:30 より名古屋マリオットアソシアホテルで開催されることが全会一致をもって承認された。

(6) 人事委員会〔4/11(木)〕開催について

市川理事より説明があり、審議の結果、原案のとおり 4/11(木)に開催することが全会一致をもって承認された。

(7) 地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について

市川理事より説明があり、審議の結果、原案のとおり 5 月 1 日 (水)～10 月 31 日 (木)まで実施することが全会一致をもって承認された。

2. 平成 25 年度地域別救急・災害医療対策推進事業補助金配分(案)・診療科別救急・災害医療対策推進事業費補助金配分(案)について

稲坂理事より、昨年度の配分金と比較して 10%以上カットされることについての説明があり、審議の結果、各地区医師会並びに各分科会への配分について、原案のとおり賛成多数をもって承認された。

3. 平成 25 年度 病院事務職員のための教育ワークショップ〔7/20(土)・11/16(土)〕開催ならびに講師謝礼について

伊藤(健)理事より説明があり、審議の結果、原案のとおり 7/20(土)・11/16(土)の日程で開催すること、講師謝礼として 3 名に 10 万円、2 名に 7 万円支出することが賛成多数をもって承認された。

4. 愛知県医師会地域医療人材育成センター(ドクターバンク)規程について

伊藤(健)理事より、これまでの経緯の明文化する為に規程を作成したことについて説明があり、審議の結果、原案のとおり制定することが賛成多数をもって承認された。

5. 愛知県医師会医療秘書学院講師(案)について

大輪理事より説明があり、審議の結果、原案のとおり医学基礎教科 6 名、秘書専門教科 15 名の選任について、承認された。

6. 日本医師会認定産業医研修会〔平成 25 年 7 月～9 月分〕開催について

西山理事より、既に産業保健部会幹事会にて承認されたことが説明された。審議の結果、原案のとおり開催することが全会一致をもって承認された。

7. 平成 25 年度 医療事務員講習会について

樫尾理事より、前期 14 回後期 14 回の計 28 回を 14 日間で開催すること、講師は原則昨年と同じ先生方をお願いすることが説明された。審議の結果、原案のとおり開催することが全会一致をもって承認された。

8. 医療安全対策委員会委員の追加委嘱について

細川理事より説明があり、審議の結果、原案のとおり北区医師会（名古屋市立西部医療センター）の鈴木佳克先生に委嘱することが全会一致をもって承認された。

9. 死因究明システム運営委員会委員の委嘱について

細川理事より、医療安全対策小委員会の委員にそのままなっただくということが説明され、審議の結果、原案のと通りの委員に委嘱することが全会一致をもって承認された。

—協議事項—

10. 理事会の議事運営の円滑化について

柵木会長より、理事会の冒頭で会長挨拶を行い、その後は従来どおり担当理事の方々から承認事項、協議事項、報告事項へと進めていくが、報告事項については要点を簡潔に説明し、重要な話題については理事者間で十分な協議時間をとるようをお願いしたいとの説明がされ、審議の結果、原案どおり承認された。

11. 理事会における ipad の効率的な活用について

山本副会長より説明があり、ipad を使用したよりスムーズな理事会進行について、庶務担当と IT 担当とで連携し、プロジェクトを立ち上げて検討したいとの説明がされ、審議の結果、原案どおり全会一致をもって承認された。

なお出席者からは、名古屋大学で実施している各診療科部長が集まる会議で利用されているシステムを参考にしてはどうかとの意見があった。

12. 入会金の徴収猶予申請について

可世木理事より、江南厚生病院、西尾市民病院、西尾市佐久島診療所、渥美病院の 4 医療機関の院長交代に伴う入会金の徴収猶予申請があったことが説明され、審議の結果、4 件とも適切なものなので、原案のとおり徴収猶予することが全会一致をもって承認された。

13. 公益社団法人愛知県医師会記念式典〔4/18(木)〕開催について

市川理事より説明があり、審議の結果、原案のとおり 4/18(木)の県下医師会長等協議会開催前の 15 時より開催することが全会一致で承認された。

なお、柵木会長より当日は略礼服で出席いただくよう説明があった。

1 4. 平成 24 年度医療連携体制推進事業委託事業の締結 (変更) について

城理事より説明があり、計画では 346 万円であったが、実際の支出が 263 万 6,478 円となり、82 万 3522 円の余剰となったため、変更契約を締結したいとの説明があり、審議の結果、原案のとおり変更契約を締結することが全会一致をもって承認された。

1 5. その他

- ・日本医師会第 22 回「指導医のための教育ワークショップ」〔7/13(土)・14(日)〕について

伊藤(健)理事より説明があり、審議の結果、伊藤(富)理事に出席していただくことが全会一致をもって承認された。

- ・環境衛生委員会予防接種広域化プロジェクトの開催について

伊藤副会長より説明があり、審議の結果、4/22(月)に開催することが承認された。

- ・社会福祉専門委員会の委員委嘱について

樋口理事より高齢福祉課主幹の交代に伴い、古田委員より井上委員に変更したいとの説明があり、審議の結果、原案のとおり全会一致をもって承認された。

- ・社保指導委員会の 4 月休会について

檜尾理事より、毎月最終火曜日に開催しているが、今月は祝日のため休会としたいことが説明され、審議の結果、原案のとおり全会一致をもって承認された。

—報告事項—

1. 愛知県医療審議会〔3/26(火)〕について

柵木会長より、平成 25 年度愛知県地域保健医療計画の策定されたこと、県の医療審議会の運営方法について、県内の全ての医療提供体制に係る会議をピラミッド型に構築する必要性について意見したことが報告された。

2. 地域医療連携のための有識者会議〔3/29(金)〕について

柵木会長より、地域枠の現状として、藤田保健衛生大学を除く 3 大学が各 5 名ずつの枠を持っていること、2 年間の前期研修は県内の病院が自由に選択でき、2 年間の後期研修は、県内の研修指定病院で研修し、研修終了後には県が指定する公的病院で 5 年間勤務するが原則となっていること、地域枠の学生の希望と医師不足を解消したい県の意向を上手くすり合わせて運営していく方法を考えていく必要があることが報告された。

なお、松尾理事から、追加で 500 億円の予算がつくということだが、医師の配置というより地域包括連携にもっと目を向けるということで、今後計画を策定

する予定であることが報告された。

3. 日医理事会〔4/2(火)〕について

柵木会長より、公益法人移行に伴う日医のガバナンスが変更されることから、「理事会権限の常任理事会への一部委任の件」監事の権限強化に伴う「内部管理体制制定の件」について、それぞれ変更することが承認されたことが報告された。

4. 公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団平成24年度第2回評議員会〔3/27(水)〕について

山本副会長より、議案として役員を選任について承認されたこと、報告として平成25年度の事業計画並びに収支予算報告があったことが報告された。

5. 日医財務委員会〔3/30(土)〕について

山本副会長より、代議員会に議案として提出された第2号議案から第5号議案について協議し、原案どおり承認されたこと、またそのことを代議員会当日に財務委員長より報告していただくことが報告された。

また、日本医学会の独立、認証局の設立、日本医師会の中で医師年金の運用の専門家を養成することについて委員会の席上で話し合われたことが報告された。

6. 環境衛生委員会予防接種広域化に関するプロジェクト〔3/25(月)・4/8(月)〕について

伊藤副会長より愛知県広域予防接種(案)について報告があった。その中で愛知県医師会の役割として、市町村との契約並びに運営協議会を設立することについて、4月18日(木)の県下医師会長等協議会、4月12日(金)の市長会 4月15日には町村会が開催されるので、そこでそれぞれ説明されることを報告した。4月22日に次回のプロジェクトが開催されるので、そこでタイムスケジュールについて検討されることも併せて報告された。

7. あいちの地域包括ケアを考える懇談会〔3/26(火)〕について

伊藤副会長より、色々な団体から医師会に対する意見があった。医師が在宅医療をする場合に、医師の手を縛るような仕組みが出来るのはよくないので、いい方向に考えていただきたいということが報告された。

8. 第2回愛知県小児救急電話相談事業運営協議会〔3/27(水)〕について

稲坂理事より、平成24年4月から25年2月までの小児救急電話相談事業の相談件数および相談内容について報告と説明があった。

問題点として、トーキー件数のところで、電話をかけた方がトーキー(自動音声)に繋がると電話を切り、また電話をかけてということを頻繁に繰り返

したことで、総受信件数が不明となった現象が起きたこと、また小児科医会と看護協会からダイヤルサービスの業者に委託したことで、4月～7月の対応件数が下がっているが、これは総受信件数が増えたことで、計算式の数字が減ったことと、ダイヤルサービスの職員が一気に退職したためであることが報告された。

9. 平成24年度第3回愛知県周産期医療協議会〔3/22(金)〕について

可世木理事より、愛知県周産期医療情報システムについて検討されたことが説明され、またHTLV-1母子感染対策パイロット調査、養育医療等権限委譲、児童虐待防止医療ネットワーク事業、先天性代謝異常検査事業、新しい出生前遺伝学的検査についての報告がなされた。

10. 母体保護法等に関する検討委員会〔4/3(水)〕について

可世木理事より、「母体保護法指定医師の指定基準モデル」、「母体血を用いた新しい出生前遺伝学的検査」、「生殖医療の法制化に関する日本医師会提案」等について検討を行ったことが報告された。

また日本医師会が主催している子育て支援フォーラムが9月7日(土)に県医師会館にて開催されることが報告された。

11. 愛知県医師会立名古屋助産師学院入学式〔4/5(金)〕について

可世木理事より、入学者が19名であったことが報告された。

12. 愛知県訪問看護ステーション連絡協議会〔3/23(土)〕について

市川理事より、学校法人日本赤十字学園日本赤十字秋田看護大学看護学科准教授中村順子先生に「地域包括ケアを推進するための訪問看護ステーションの在り方と今後の展望」についてご講演をいただき、当日の出席者は132名であったことが報告された。

13. 平成24年度 愛知県糖尿病対策推進会議 学術講演会〔3/23(土)〕について

城理事より、医師120名、歯科医師16名、薬剤師21名、看護師・准看護師39名、保健師4名、管理栄養士・栄養士19名、歯科衛生士11名、その他12名の計242名の出席があったことが報告された。

14. 第19回特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち理事会〔3/28(木)〕について

城理事より、平成25年度事業計画について例年通り実施することが承認され、また予算案の中で、医師信用組合からの借り入れに対する返済が本年度で終了予定であることが報告された。また特定健診について、3月21日(木)に愛知健保連と契約を締結したが、協会けんぽの補助額が5,400円か6,325

円となったことから、健診料金を端数の25円を追加した7,325円に変更することで締結したことが報告された。

15. 保険医協会との懇談会〔4/2(火)〕について

加藤理事より、この前の代議員会でお話した医薬分業について説明したこと、民間医療保険の現物給付についての問題提起を行ったこと、監査指導については樫尾理事より集団的個別指導の対象となる医療機関の平均点数の不透明性等についてお話いただいたことが報告された。

16. 名古屋第二赤十字病院 第30回地域医療支援病院運営委員会〔3/25(月)〕について

大輪理事より、実績報告については特に大きな変化がないことが報告された。また愛知メディカルネットワーク（電子カルテ）について、他病院の情報に関して、今までは閲覧する為に複数のパスワードが必要となるが、今後は1つのパスワードで閲覧が可能になること、訪問看護支援室の立ち上げに関して、対象があくまでも入院患者が外泊中の訪問看護事業であることが報告された。

17. 治験審査会〔3/29(金)〕について

大輪理事より、継続審査15件（統合失調症8件（小児2件含む）、潰瘍性大腸炎・2型糖尿病 各2件、変形性膝関節症・1型糖尿病・大うつ病 各1件）については、すべて問題なく承認されたことが報告された。

18. 平成24年度全国医師会医療秘書学院連絡協議会第3回常任委員会及び第2回運営委員会・第2回医療保険請求事務実技試験委員会〔3/30(土)〕について

大輪理事より、当日は協議会委員長である柵木会長、日本医師会から担当役員の羽生田副会長からご挨拶いただき、実技試験委員会、常任委員会、運営委員会について、それぞれ内容についてはつつがなく終了したことが報告された。

また柵木会長より今後の医療秘書学院のあり方についての担当理事の見解を尋ねられたことについて、現在9県11校の学校がある中で、委託をして全日制で行う学校については学生からの人気も高いが、通信制についてはインターネット新聞テレビ等で募集をしているが、あまり芳しい状況ではない。3か月で医療秘書の免許が取得できる時代であり、2年間の通信教育で免許が取得できることが時代のニーズにそぐわなくなっていることから、全日制への移行を進めていくことが望ましいのではないかとの感想を述べられた。

19. 産業医研修会〔3/23(土)・3/26(火)〕について

西山理事より、3/23(土)集中講義としてデザインホールにて開催し、実地126名、更新156名、専門153名の出席があり、3/26(火)は東邦ガスにて実地研

修を開催し、23名の出席があったことが報告された。

20. 第2回瀬戸地域産業保健センター運営協議会〔3/25(月)〕について
西山理事より、平成24年度事業実施状況報告並びに平成25年度委託実施計画について説明並びに報告があった中で、センターとして非常に活発な活動をしており、23年度に比べ健康相談窓口の開設が軒並み増加していることが報告された。
21. 平成24年度愛知県精神保健福祉協会常務理事会〔3/28(木)〕について
西山理事より、平成24年度事業報告並びに25年度の事業計画及び収支予算案等について説明並びに報告があった。その中で出席者よりこの会の位置付けが不明なので(Googleで検索してもヒットしない)ホームページを作ることが提案された。
22. 平成25年度 保険医療機関の指導に関する打合せ会〔3/27(水)、4/5(金)〕について
榎尾理事より、平成24年度指導実績結果並びに平成25年度保険医療機関指導実施計画についての説明及び報告された。
更新時の6年に1回の集団指導を今年度から行うという話が出ており、愛知県医師会が実施している集団指導講習会とどのように絡めていくのかということで、東海北陸厚生局と愛知県医師会が連携して講習会を進めて行ってはどうかと申し入れたことが報告された。
23. 愛知県老人保健施設協会理事会〔4/3(水)〕について
榎尾理事より、参議院選挙における候補者の推薦ということで、全国老人保健施設連盟が羽生田先生を推薦するというので、愛知県でも強力にやっていただきたいということをお願いしたことが報告された。
24. 社保集団指導講習会並びに医療安全説明会〔4/4(木)〕について
榎尾理事より、対象地区より295名、その他の地区から125名の合計420名の出席があったことが報告された。
25. 在宅医療研修会 多職種連携によるチーム医療〔3/24(日)〕について
樋口理事より、資料により当日の内容について説明をされ、4時間で終了されたとの報告をされた。
26. 愛知県介護予防推進会議〔3/25(月)〕について
樋口理事より、平成23年度介護予防事業実施状況並びに平成24年度愛知県介護予防市町村支援事業についての説明及び報告された。

27. 愛知県認知症施策推進会議〔3/25(月)〕について
樋口理事より、認知症施策推進5カ年計画(オレンジプラン)及び認知症日常生活自立度による認知症施策(案)について報告された。
28. 各種委員会・部会について
- A) 医療安全対策委員会〔3/19(火)〕について
細川理事より、平成25年3月分委員会提出案件40件(新規13件、解決27件)について検討したことが報告された。
- B) 産業保健部会幹事会〔3/22(金)〕について
西山理事より、日医認定産業医研修会(7月~9月分)・各地域産業保健センターの現状報告と問題点について協議したことが報告された。
伊藤(健)理事、城理事より実地研修の定員増加に対する要望があり、西山理事からは幹事会で検討する旨回答された。
- C) 調査室委員会〔3/26(火)〕について
加藤理事より、会員意識及び実態調査の回答方法について説明があり、その中で、文書並びにWeb上での回答を無記名で行うことの問題点について報告された。
- D) 医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会〔3/26(火)〕について
大輪理事より、事例報告・検討事例81件の中で、皮膚科、眼科の事例が増加していることが報告された。
- E) 愛知県医師会警察部会第2回幹事会〔3/27(水)〕について
細川理事より、災害時検案班の登録、愛知県医師会検視立会医死体検案業務研修会のあり方について検討したことが報告された。
また、警察部会と警察医会の関係について、横井副会長よりご説明いただいたことも併せて報告された。
- F) 救急委員会〔4/2(火)〕について
稲坂理事より「平成25年度救急・災害医療対策事業及び予算について」、「平成25年度地域別救急・災害医療対策推進事業補助金配分(案)・診療科別救急・災害医療対策推進事業費補助金配分(案)について」が協議され、了承されたことが報告された。
- G) 調査室委員会〔4/3(水)〕について
加藤理事より、資料により当日の内容について報告された。

H) 男女共同参画委員会〔4/4(木)〕について

伊藤(富)理事より、日本医師会第3回女性医師支援委員会、愛知県女性医師確保に係る委員会、平成24年度女性医師支援事業連絡協議会、日本医師会第5回男女共同参画委員会、平成24年度第2回『2020.30』推進懇話会、育児期継続就労支援に関するアンケート、平成25年度「医学生、研修医等をサポートする会」、第9回男女共同参画フォーラムについて資料により報告された。

29. その他

・会計に関する諸規程の改正について

丹羽監事より、県医師会の経理関係の各種規則等（旅費、会務出張手当、費用弁償、学会等助成基準等）について、内容を整理してひとつに纏めて欲しいとのご提案があり、会長より、総務で見直し、作成するよう指示された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成25年4月11日